

Writing Towards America

米国留学プラクティカル・ライティング

浅 間 正 通 編著

英 宝 社

は し が き

平成 15 年 3 月、『「英語が使える日本人」の育成のための行動計画』が文部科学省によって発表されました。いわゆる「アクションプラン」と呼ばれるものですが、その内容には実に目を見張るものがあります。スーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールの試み、英語教師に対して必要とされる英語力（英検準一級、TOEFL550 点、TOEIC730 点程度以上）の明示、入試センター試験におけるリスニングテストの導入など、かなり踏み込んだものばかりです。これまで遅々として進まなかった実践的英語運用能力の育成に対して本格的にメスが入れられたものと受け取られます。賛否両論あるものの、情報化によって推進されつつある現代（社会）、すわなちボーダレス時代（ボーダレス社会）にあってはある意味で必然なのかもしれません。

最近、多くの大学でも TOEFL または TOEIC などの資格試験をカリキュラムに位置づけて、数値目標を設定しながら学生の学習意欲を喚起しようとする動きが高まりつつあります。これが、アクションプランに触発されての風潮かどうかは分かりませんが、かねてより叫ばれてきた「実用英語」のひとつの方向性が大学の英語教育にも示され、「英語リテラシー」が緊急の課題であることを窺わせるようです。

このような風潮にあって、Communication Skills および Reading Skills の養成は必須として看板に掲げられるものの、なぜか Writing Skills の問題となると次第にトーンダウンしているような気がしてなりません。翻訳辞書を始めとする学習支援ツールの精度が上がり、また廉価にもなってきたことで余計にそのような意識の希薄化が促されているのかもしれませんが、Writing Skills も英語リテラシーの重要な一翼を担うものであることに変わりはありません。電子メールの普及にともなって Writing Skills がますます重要視される時代でもあるのです。

本書は、そのような問題意識を出発点として編んだ英作文演習テキストです。英作文の演習教材でありながら、その扱うトピックは、多くの英語学習者にとって関心事である「米国留学」を前提にしています。米国への留学準備に始まり卒業に至るまでの時系列の中で自然と英作文に親しみ、同時に留学生活に必要な基礎知識をも得、さらには異文化理解を促せるよう工夫してあります。是非とも、主体的な関わりを持って取り組んでもらえればと願う次第です。

最後に、本テキストの出版に際しましては、英宝社の宇治正夫氏に並々ならぬご尽力を頂きましたこと、ここにあらためて感謝申し上げる次第です。

2003 年 10 月

編著者 浅間 正通

本書の使い方

このテキストは13章からなる半期用教材として構成されています。英作文演習テキストではありますが、単に和文英訳にとどまることなく一貫して英語的思考に馴染んでもらいたいとの意図で編んでいます。また、本テキストでは米国留学を志す登場人物の純と麻理を中心に彼らの米国留学生活が時系列で流れていきます。この2人の登場人物に、皆さん自身が自分を重ねてみることで、より学習内容が説得力をもって訴えかけてくることかと思えます。

各 chapter は次のように構成されています。

<Logical>

ひとつのまとまったパラグラフがばらばらに解体されています。これを再構築するためには論理的な思考が必要になってきます。文法力、語彙力、さらには類推力を駆使して難問にチャレンジしてみてください。また、本設問は Chapter 1 から Chapter 13 までそれぞれ独立した章になってはいますが、その内容は一貫した流れを持っています。なぜなら、取り扱われる Episode はいずれもクラスメイトである純と麻理の高校時代の英語の恩師が、2人に対して自らの留学生活経験を回想しながら語るスタイルをとっているからです。したがって、時にパラグラフの再構築に困難をきたしたら、前の章なり後の章なりに飛んでヒントを得るのも良いでしょう。

<Multiple>

ここでは英語のパラフレーズ能力を養成していきます。母語に頼ることなく英語で別表現を思考することで英作文能力への柔軟性を培います。また、本設問は TOEFL および TOEIC の出題問題をも意識して編んでいますので、できるだけ辞書の助けを借りることなくチャレンジしてみてください。

<Sequential>

ここでは、英作文演習にありがちなモノ・ディレクショナルな単調さを補うために、よりインタラクティブなスタイルを採用しながら英作文を味わいます。また、ここで交わされるダイアログはいずれも実際文脈に即したもののばかりです。問題を解き終えたらパートナーとともに対話実践してみるのも良いでしょう。

<Selective>

日本語の中にしっかりと根をおろしている借用語（外来語）の落とし穴に気付いてもらおうと考えて構成されています。日本語に位置づけられている英米借用語の多くが和製英語と化している事実を目を向けてみることにします。

<Casual>

留学して逃れることのできないのが、現地で浴びるスラングのシャワーです。ある意味でこれほど実用性の高いものもありますが、普段はなかなか学習機会がありません。そこで、標準口語表現として知っておきたいものを取り上げて、本テキストに一つのスパイスを利かせてみました。是非とも、実際の会話場面に活かしてみてください。

<Regulative>

これは、コントロールされた文脈の中でどれだけの確に英語で作文表現できるかを問う問題です。ある意味でもっとも難易度の高いものですが、問われる箇所はできるだけ自力解決可能なものに限定してありますので諦めずにチャレンジしてみてください。

<Comparative>

従来のオーソドックスな和文英訳問題ですが少々コントロールされています。できれば、本設問に至る過程で学んだ知識を最大限に駆使しながら思考してみてください。

CONTENTS

はしがき		iii
Chapter 1	The Preliminaries for Studying Abroad..... (留学準備)	9
Chapter 2	From Departure to Arrival..... (渡米)	13
Chapter 3	Host Family..... (ホストファミリー)	17
Chapter 4	Homestay..... (ホームステイ)	21
Chapter 5	University Life I..... (授業開始)	25
Chapter 6	University Life II..... (キャンパス・ライフ)	29
Chapter 7	University Life III..... (試験)	33
Chapter 8	University Life IV..... (旅行)	37
Chapter 9	Daily Life I..... (銀行・買い物・食事)	41
Chapter 10	Daily Life II..... (余暇)	45
Chapter 11	Daily Life III..... (異文化への目覚め)	49
Chapter 12	Job Hunting..... (就職活動)	53
Chapter 13	Commencement..... (卒業)	57

Chapter 1

The Preliminaries for Studying Abroad

【留学準備】

<Logical>

[1] 下記の英文を正しく並べ替えて意味の通るパラグラフを作成しなさい。

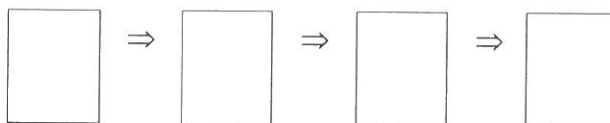
Episode 1

- (A) Knowing my interests and wishes from the papers I had sent in, AFS headquarters placed me with a host family just right for me.
- (B) Going to America as an American Field Service exchange student had always been my dream and so, when I was a junior in high school, I went ahead and applied to the program.
- (C) More than anything else, though, I wanted to lead an ordinary family life just like any American teenager in a small town.
- (D) Needless to say, I wanted to see the real America with my very own eyes and make many friends there.

NOTES

send in ~ 「～を提出する」 go ahead 「(話・仕事を) 進める」 AFS = American Field Service (米国に本部のある国際文化交流財団) headquarters 「本部」

Ans.



<Multiple>

[2] 次の下線部に留意して、(a) (b) がほぼ同じ意味になるように空欄を補充しなさい。

1. (a) Jun is going to sit for the TOEFL this weekend.
(b) Jun is going to () the TOEFL this weekend.
2. (a) TOEFL represents Test of English as a Foreign Language.
(b) TOEFL () () Test of English as a Foreign Language.

3. (a) Jun's father advised him to go to America after finishing college.
(b) Jun's father advised him to go to America after getting ()
() college.

<Sequential>

[3] 次の()内の英語を意味が通るように正しく並べ替えなさい。

背景情報：純君は夏の米国大学英語集中講座に関心があり、電話で資料請求しています。

Jun: I'm interested in the summer intensive program of English for foreign students offered at your college. (you, information, the, could, me, necessary, send) including a brochure and an application form, please?

Office staff: All right. I will send them to you via airmail.

Jun: What will I need to apply for the program?

Office staff: You must submit the application form, a bank statement and the application fee.

Jun: I see. Thank you very much for your help.

Office staff: You're welcome.

Ans. _____

<Selective>

[4] 次の対話文が成立するとすれば空欄にはどの語が入りますか？該当する記号を空欄に記入し、あわせてその英語表現を末尾の[]内に記入しなさい。

背景情報：純君は米国留学後の生活について学校のALTのRedford先生からアドバイスを受けています。

Jun: I have a question. Is it possible to have a () [] if you are an exchange student?

Mr. Redford: It is possible, but you must be careful that it doesn't interfere with your studies.

Jun: How about tutoring students taking Japanese?

Mr. Redford: Good idea!

Jun: What do you think about living in a () [] alone?

Mr. Redford: I recommend a homestay or staying in a dormitory.

あ・テレビゲーム	い・ワンルームマンション	う・ロードショー
え・オフィスビル	お・アルバイト	か・カメラマン

<Casual>

[5] 次の英語表現が成立するように()内に適語を入れなさい。

※()内にはいずれも身体の一部に関する語が入ります。

1. Let's play it by ().
臨機応変にいこう。
2. During the interview, I had cold () and could not speak a word of English.
面接の間、私はおじけづいて一言も英語を話すことができなかった。
3. "You'd better not tell Ken about your plan. He has a big ()."
「君の計画をケンには話さない方がいいよ。彼はおしゃべりだから。」

<Regulative>

[6] 次の日本文に合うように英文を完成しなさい。

1. 私は経済を専攻したいと思います。

I'd like to _____ economics.

2. 東海岸に行こうかどうかどうしようか決めかねています。

I can't _____ my mind whether I should go to
the East Coast or the West Coast.

3. 「学校案内を送っていただけますか？」

"Could you please send me _____?"

4. 純は、8月7日に日本を発ってロスに向かう予定です。

Jun is _____ L.A. on the 7th of August.

5. 純の友人は、彼のために送別会を設定してくれました。

Jun's friends _____ for him.

<Comparative>

[7] 次の和文を英訳しなさい。

1. 留学する場合、しっかりとした目的意識を持っていることが何よりも大切です。
[Nothing を主語にして]

2. インターネットのおかげで、米国留学に関しての必要な情報も容易に収集することができるようになりました。[the Internet を主語にして]

Coffee Break

“It is my wish to serve as a bridge over the Pacific Ocean.”

この英文を見て誰を連想するであろうか。ボーダレス時代の今、あまりしっくりとはこないかもしれないが5千円札の肖像でも知られ、国連事務局次長や東京女子大学の初代学長などをつとめた新渡戸稲造（にとべ・いなぞう）氏の言葉の英訳である。氏は、東京大学に学んだ際、主専攻に経済学を、副専攻に英文学を選んだ。その理由を問われて「私は太平洋の橋になりたいのです。」と答えたのはあまりにも有名である。盛岡先人記念館（岩手県盛岡市）にある新渡戸稲造記念室を訪ねると、当時の留学の先駆者の熱き思いが偲ばれる。

Chapter 2

From Departure to Arrival

【 渡 米 】

<Logical>

[1] 下記の英文を正しく並べ替えて意味の通るパラグラフを作成しなさい。

Episode 2

- (A) The Christys, my host family, were at Penn Station to meet me.
- (B) I had never been hugged so hard in my life, but it sure was a very happy surprise.
- (C) When I got off the train, Mom Christy came running toward me and gave me a big, warm hug.
- (D) Soon it was time to leave for the United States, and I was on my way to Baltimore, Maryland.

NOTES

Maryland アメリカ東部の州。 **Baltimore** メリーランド州北部の港街。 **hug** 「抱きしめる (こと)」

Ans.

	⇒		⇒		⇒	
---	---	---	---	---	---	---

<Multiple>

[2] 次の下線部に留意して、(a) (b) がほぼ同じ意味になるように空欄を補充しなさい。

- (a) It is about 17 hours earlier in Tokyo than in Los Angeles.
(b) Tokyo is about 17 hours () () Los Angeles.
- (a) What do you say to some refreshments?
(b) () () some refreshments?

3. (a) Why have you come to the United States?
 (b) What is the () () your visit to the United States?

<Sequential>

[3] 次の()内の英語を意味が通るように正しく並べ替えなさい。

背景情報：麻理さんは米国に向かう機内で客室乗務員に飲み物を頼んでいます。

Flight attendant: (drink, like, you, something, would, to)?

Mari: Well, I'd like some pineapple juice, please.

Flight attendant: Sorry. . . We don't have pineapple juice, but we do have orange juice.

Mari: OK. I'll have some of that.

Flight attendant: Here you are.

Mari: Thank you.

Ans. _____

<Selective>

[4] 次の対話文が成立するとすれば空欄にはどの語が入りますか？該当する記号を空欄に記入し、あわせてその英語表現を[]内に記入しなさい。

背景情報：麻理さんは預けた荷物が出てこないので空港職員に事情を説明しています。

Mari: Excuse me, but my bags didn't come out of the baggage claim.

Airport officer: I see. How many bags did you check-in?

Mari: Two. One is a black () [] and the other is a red suitcase.

Airport officer: Fill in this form and we'll contact you as soon as we find them.

Mari: OK. Do you have a () [] I can use?

あ・リュックサック	い・ホッチキス	う・シール
え・ボールペン	お・ビニール	か・ファスナー

<Casual>

[5] 次の英語表現が成立するように()内に適語を入れなさい。

※()内にはいずれも色の名前が入ります。

1. "How are you?" "I'm in the (), thanks. I'm ready to leave."

「元気?」「とっても調子いいよ、ありがとう。出発の準備ができたよ。」

2. I'm going to catch the ()-eye to San Francisco.
サンフランシスコ行きの夜行便に乗ります。
3. "Use your () matter and think what you should do in this situation."
「頭を働かせて、この状況ではどうしたらいいか考えてごらんよ。」

<Regulative>

[6] 次の日本語に合うように英文を完成しなさい。

1. 麻理は万が一にも飛行機に乗り遅れることのないように、早めに家を出ました。

Just in case, Mari left home early to make sure _____.

2. 「ノース・ウエスト航空 723 便サンフランシスコ行きは、ただいまご搭乗の最終案内をしています。15 番ゲートよりお急ぎご搭乗ください。」

"Final call for Northwest Air, Flight 723 departing for San Francisco. Passengers on this flight, _____

immediately."

3. 「当機は約 1 時間後にサンフランシスコ国際空港に到着の予定です。」

"_____ at San Francisco International
Airport in about one hour."

4. 「シートベルトを着用して、椅子をまっすぐの位置に戻していただけますか？」

"Could you please fasten your seat belt and _____?"

5. 「スーツケースが出てくるのを 40 分以上待っているのですが、まだ出てきません。」

"I've been waiting for my suitcase for more than forty minutes, but _____
_____."

<Comparative>

[7] 次の和文を英訳しなさい。

1. 機内誌を読んでいたら、幸運にも留学先の大学に関する有益な記事を見つけました。[機内誌 an in-flight magazine]

2. 入国審査の際にニューヨーク滞在の目的を説明するのにひと苦勞しました。
[入国審査 passport control]

